

モロッコ王国
高等海事学院プロジェクト
計画打合せ調査報告書
付・巡回指導調査報告書

平成10年12月

国際協力事業団
社会開発協力部

序 文

モロッコ王国は大西洋と地中海に面する海運国であり、国の高等海事学院(ISEM)で上級船舶職員の教育・訓練の充実を図っている。しかし「船員の訓練及び資格証明並びに当直の基準に関する国際条約(STCW 条約)」批准のための基準を満たすには、その教育機材・カリキュラム・指導要領などが不十分なため、我が国にプロジェクト方式技術協力を求めてきた。

これを受けた国際協力事業団は、1996年1月の討議議事録(R / D)に基づいて、同年4月から5年間にわたる技術協力を行っている。プロジェクト開始から1年を経た時点で、その進捗状況を調査して今後の協力方針を検討するため、1997年4月6日から同18日まで、運輸省航海訓練所研究調査部教授 米原 健一氏を団長とする計画打合せ調査団を現地に派遣した。

また、プロジェクト開始から2年半が経過した時点で、プロジェクト実施に係る総合的協議を行うため、1998年12月6日から同19日まで、巡回指導調査団を派遣した。

本報告書はこれら調査団の調査・協議結果を取りまとめたもので、今後のプロジェクトの進展に広く活用されることを願うものである。

ここに、調査団の各位をはじめ、ご協力いただいた外務省、運輸省、在モロッコ王国日本大使館など、内外関係各機関の方々に深く謝意を表するとともに、引き続き一層のご支援を賜るよう、お願い申し上げる次第である。

平成 10 年 12 月

国際協力事業団

社会開発協力部

部長 加藤 圭一

目 次

序 文

目 次

地 図

第 部 計画打合せ調査報告書

1 . 計画打合せ調査団派遣	3
1 - 1 調査団派遣の経緯と目的	3
1 - 2 調査団の構成	4
1 - 3 調査日程	4
1 - 4 主要面談者	5
2 . 要 約	6
3 . 暫定実施計画の進捗状況	7
3 - 1 協力活動	7
3 - 2 モロッコ側インプット	7
3 - 3 日本側インプット	9
3 - 4 合同委員会の協議事項	10
4 . 今後の活動計画	14
4 - 1 暫定実施計画と次年度詳細計画	14
4 - 2 エンジンプラント据え付け計画	15
5 . 実施運営上の問題点	18
6 . 調査団所見	19
付属資料	
1 . ミニッツ (英文)	23
2 . ミニッツ (和文)	43

3 . 調査団対処方針と調査結果	47
4 . モロッコ王国の船員教育一般状況	55
5 . ISEM のカリキュラム	62

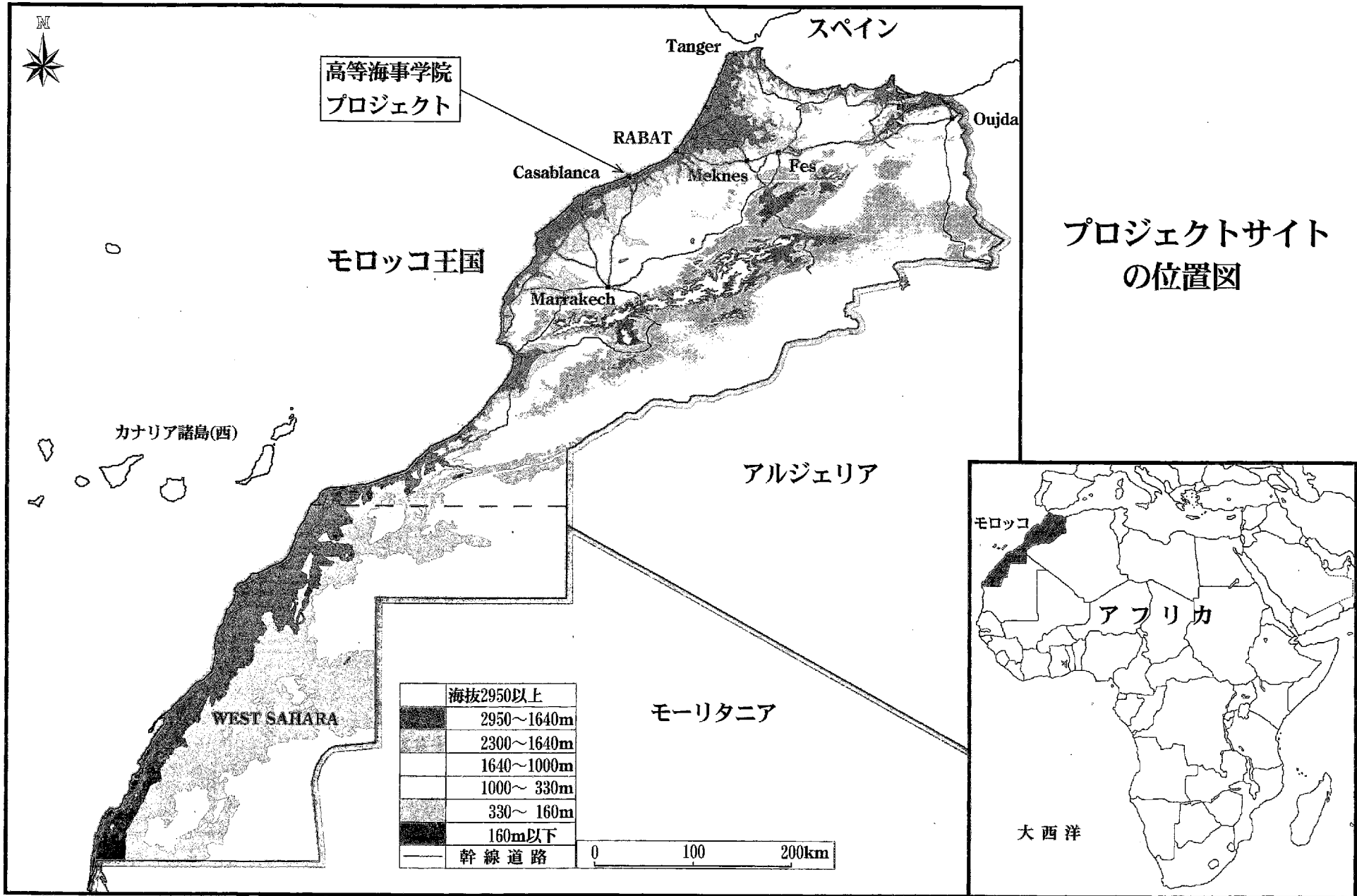
第 部 巡回指導調査報告書

写 真

1 . 巡回指導調査団の派遣	75
1 - 1 調査団派遣の経緯と目的	75
1 - 2 調査団の構成	76
1 - 3 調査日程	76
1 - 4 主要面談者	77
2 . プロジェクトの進捗状況	78
2 - 1 プロジェクトの活動状況	78
2 - 2 プロジェクトの実施運営体制	78
2 - 3 モロッコ側投入	79
2 - 4 日本側投入	79
3 . 協議結果及び調査団所感	81

付属資料

1 . ミニッツ	87
2 . プロジェクト投入、活動実績資料	137
3 . ISEM から IMO へ提出されたレポート	184
4 . ディーゼルエンジンプラントの今後の活用計画案について	205



プロジェクトサイト位置図

